レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
羽丘	浄土宗の本をみたい	『うちのお寺は浄土宗』双葉社（1997）を貸出しました。
羽丘	漢字のなりたちを知りたい（龍の漢字が載っているもの）小学生	自館所蔵の資料から、 『イラストでわかる難読漢字じてん』卯月　啓子／監修　成美堂出版（2024）を貸出。 『学研漢和大字典』藤堂　明保／編　学研（1980）にも少し記載あり。 このほか、他館にも調査依頼し、 『感動する漢字』山口　謡司／著　廣済堂出版（2012） 『漢字なんでも大研究第5巻』西本　鶏介／監修　ポプラ社（1998）が見つかりました。
羽丘	田舎暮らしの本が見たい	あまり適当なものがなく、 『ゆうゆうシニアライフご指南帖』読売新聞生活情報部／編　生活書院（2007） 『田舎暮らしができる人できない人』玉村　豊男／著　集英社（2007） 『黒部源流山小屋暮らし』やまと　けいこ／著　山と溪谷社（2019）を見ていただきました。
羽丘	道の駅などで車中泊するための本・雑誌など	『軽バン生活』軽バン生活／著　玄光社（2024） 『安心・安全!はじめての快適車中泊』JTBパブリッシング（2019） 『男の隠れ家　25年1月号』三栄書房（2024）を取り寄せ提供しました。
丹比	同窓会で司会をすることになったので、一般的な司会のあいさつや進行等に関する本を借りたい	司会等に関する一般書として下記の４冊の本を紹介、貸出しました。 『上手な段取りと演出がわかる司会＆幹事の進行実例集』響由佳／著　高橋書店（2003） 『すぐに役立つ司会の進め方と実例』島影教子／著　ナツメ社（2007） 『新しいあいさつ・スピーチ文例集』すぴーち工房／著　法研（2022） 『お母さんの学校行事・おつきあいのあいさつ・文書』近藤珠實／著　池田書店（2007）

レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
陵南	テレビ番組で「サイの歯は４本で、５回ほど生え変わる」と放送していた。それが本当かどうか知りたいので、サイの歯の本数と生え変わりについて載っている本を調べてほしい。	市内各図書館で調べました。 『世界大博物図鑑５　哺乳類』荒俣　宏／著　平凡社（2014） 『図解動物観察事典　新訂』朝日　稔／（他）共著　地人書館（1993） 『世界動物大図鑑』デイヴィッド・バーニー／総編集　ネコ・パブリッシング（2004） 『動物生態大図鑑』デイヴィッド・バーニー／著　東京書籍（2011） 『動物園めぐり』G.B.（2020） 『手のひら図鑑６　哺乳類』伊藤　伸子／訳　化学同人（2016）※以下は児童書 『どうぶつフムフムずかん』マリリン・ベイリー／文　玉川大学出版部（2009） 『インドサイ』有賀　完次／文　ポプラ社（1980） 『どうぶつくらべっこ』内山　晟／写真　あかね書房（2010） 『この世界からサイがいなくなってしまう』味田村　太郎／文　学研プラス（2021） 以上をを確認したところ、サイの大まかな生態についての記述はありましたが、歯の本数については記載されていませんでした。 後日、本人より「勘違いで、サイではなくゾウでした」と申し出がありました。 『骨の博物館Ⅱ　頭の骨』カミラ・デラ・ベドイエール／文　辰巳出版（2015） にゾウの頭蓋骨のイラストが載っているのを見ていただきました。 　追記・ゾウの奥歯は左右に１対ずつあり、生え変わり用の歯が複数埋まっています。つまり外に見えている歯の数は４本、牙（前歯が変化したもの）を入れて６本ということになります。
陵南	上記番組にて「犬と猫の歯の本数は、猫の方が多い」と聞いたが、それが本当かどうか知りたい	『イヌのすべて調べ図鑑１』今泉　忠明／著　汐文社（2001） 『ネコの本』デヴィド・テイラー／著　日本テレビ放送網（1990） それぞれに歯の本数が記載されており、犬の方が歯の本数が多いことがわかりました。この２冊を貸出しました。

レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
陵南	古市にある「真蓮寺（しんれんじ）」について記載がある本を借りたい	陵南所蔵３冊 『羽曳野市史 第４巻 史料編２』羽曳野市史編纂委員会／編　羽曳野市（1981） 『紀要 羽曳野市史　羽曳野の神社・寺院・民家』青山　賢信／著　羽曳野市（1999） 『歴史の散歩道（第４版）』羽曳野市教育委員会／編　羽曳野市教育委員会（1988） 他に、中央所蔵の１冊 『羽曳野市の文化財と史跡』羽曳野市教育委員会／編　羽曳野市教育委員会（1975） をご案内しました。
中央	真蓮寺について調べている。 欄間がすばらしいので、載っている資料を探している。 真蓮寺についての資料を作る予定とのこと	先に陵南の森で『羽曳野市史』『紀要　羽曳野市史』『歴史の散歩道』は貸出済。 当館にしかない『羽曳野市の文化財と史跡』羽曳野市教育委員会（1975）を見に来られましたが、真蓮寺についての記載はあまりありませんでした。 『羽曳野の文化遺産』羽曳野市役所秘書室（1994/1998）にも写真１枚のみ。 あまりご期待にそえる資料はありませんでした。
中央	雑誌『歴史と旅』2019年5月号が見たい	市内所蔵なし、インターネット検索すると『歴史と旅』（秋田書店）は2003年で休刊した雑誌でした。利用者に情報源を確認すると、藤ノ木古墳に関する論文の中に載っていたもので、その雑誌の特集も藤ノ木古墳だったと思うとのこと。「歴史と旅」「藤ノ木古墳」をキーワードに検索すると、『歴史と旅』平成元年(1989年）5月号（特集「藤ノ木古墳被葬者の謎」）が見つかりました。利用者に確認すると、これだと思うとのこと。 広域利用の方なので、大阪府立図書館に所蔵があることを伝えて終了しました。
中央	消毒や除菌に使用する薬剤の成分が載っている本はないか	市販のハイターなどを使って次亜塩素酸水を作るように、水〇:薬剤〇の比率が載っている資料があればいいとのことでした。 『自衛隊感染予防ＢＯＯＫ』JWings別冊編集部／編集　イカロス出版（2020） 『介護の感染対策』川越　正平／監修　秀和システム（2023） 『よくわかる最新洗浄・洗剤の基本と仕組み』大矢　勝／著　秀和システム（2011） 以上３冊を提供しました。

レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
中央	明治期について書かれた文献に出ていた「河内国四拾五番小学校」の所在地と沿革が知りたい	『大阪府教育百年史　第二巻　史料編』により、「河州第四十五番小学」が河内郡今米村（現在の東大阪市）にあったことがわかりました。より詳細を知るため、府立図書館にｅレファレンスを依頼し、下記の回答をいただきました。 小学校名が番号で表記されていたのは明治６年～８年まで。 『東大阪市史　近代１』東大阪市史編纂委員会／編　東大阪市（1973）によれば、「第四十五番小学　河内郡今米村」から、明治18年に合併によって川島小学校になり、同市史の刊行当時は川島尋常小学校は英田（あかだ）小学校となっています。 『大阪府学校一覧　1974』タイムス出版部／編　タイムス（1974）に英田小学校の記載あり。 『大阪府学校一覧　1975』タイムス出版部／編　タイムス（1975）に英田北小学校の記載あり。 （所在地はどちらも同じ場所です） 英田北小学校のウェブサイトには、詳細な沿革は出ていませんが、「本校は明治30年4月1日に創立された歴史ある学校です」との記載があります。
中央	「大阪市清水が丘」が載っている地図	見やすく大きく載っている地図をお探しのようでしたので、 『でっか字大阪詳細便利地図（ハンディマップル　２４区＋全市）』昭文社（2019） 『でっか字都市地図　大阪市』昭文社 (2003)を提供しました。
古市	火振り漁について簡単にわかるものと写真が見たい	羽曳野市立図書館所蔵で、数日の間に用意できる資料を希望とのことで、 『四万十　川漁師ものがたり』山崎武／著　同時代社 (1993) 『調べてみようふるさとの産業・文化・自然1　日本列島の農業と漁業』 　中川重年／監修　農山漁村文化協会 (2007) 『子どもに伝えたい和の技術９　漁』和の技術を知る会／著　文溪堂 (2018)を提供しました。

レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
古市	白色のかたくりの花が群生している写真が見たい	白色のかたくりは突然変異でできる珍しいもので、白花の群生写真というのはないようです。 通常のかたくりの群生写真が載っている資料は多数あり。白色のかたくりの花は 『四季の花景色』TAC出版（2023） 『カタクリ 花咲く春の森で』太田　威／著　平凡社（2001） 『カタクリの里』高橋　喜平／著　講談社（1995） に写真があり、上記を提供しました。
古市	大きいビーズで球体を作り、その中の空洞に鈴を入れるなどして音が鳴る赤ちゃん向けのおもちゃを作りたい。 ビーズで球体を作るやり方がのっている資料を探している	『ビーズ大好き』主婦の友社（2002） 『ビーズのモチーフ』ブティック社（2002） 『おしゃれなモチーフビーズ』成美堂出版（2002） 『マイ・ビーズスタイル6』日本文芸社（2005）を提供
東部	スイッチや（指で押す）ボタンの写真または絵が載っている幼児向けの本	『ぼくは新幹線の運転士』柏原　治／監修　成美堂出版（2002） 『なんのボタン？』サタケ　シュンスケ／作・絵　金の星社（2023） 『ぜったいにおしちゃダメ?』ビル・コッター／作　サンクチュアリ出版（2017） 『ぜったいにおしちゃダメ？　ラリーととうぶつ』著者・出版社は上に同じ（2020） 『ぜったいにおしちゃダメ？　ラリーのたんじょうびケーキ』〃（2022） 『ぜったいにおしちゃダメ？　ラリーとおばけ』〃（2021）
東部	今まで読んだことのないものでインパクトのある絵本（会話が大阪弁/絵が独特など）	『むぎちょこたんていしゃ』青山　友美／作　ほるぷ出版（2024） 『ファーガスどーこだ?』マイク・ボルト／作　偕成社（2021） 『きゅうしょくたべにきました』シゲリ　カツヒコ／作　KADOKAWA（2024） 『しかしか』山田　マチ／文　小学館（2020） 『ワンコデパート』牛窪　良太／作　東京：小学館（2024）

レファレンス記録　2025年2月

館	相談内容	回答・提供資料他
東部	新人教育・後進育成・人材育成についての本（できれば福祉・介護分野のもの）	市内他館から取り寄せた資料は以下のとおりです。 『新人指導の教科書』 　JMAM「基本能力研究会」／著　日本能率協会マネジメントセンター（2024） 『人を育てるほめ方叱り方』ＰＨＰ研究所／編　ＰＨＰ研究所（1990） 『イラスト社会人としての心得』経営書院／編著　経営書院（1997） 『ゼロから教えて新人教育』大部　美知子／著　かんき出版（2014） 『現場主義の人材育成法』関　満博／著　筑摩書房（2005） 『シニア社員の活かし方・処遇の仕方』齋藤　清一／著　中央経済社（2019） 『自律型社員を育てる「ABAマネジメント」』榎本　あつし／著　アニモ出版（2017） 『なんとかしたい!「ベテラン社員」がイキイキ動き出すマネジメント』 　片岡　裕司／著　日本経済新聞出版社（2016） また大阪府立図書館からも下記の資料を借用し提供しました。 『居宅介護支援事業所のための管理・運営ハンドブック』 　白木 裕子／編著　中央法規出版（2021） 『介護人材の確保と職場定着策』中井 良育／著　晃洋書房（2018） 『介護経営白書　2019年度版』日本医療企画（2019） 『はじめてのOJTリーダーの心得』中井 嘉樹／著　産労総合研究所出版部経営書院（2011）